

十字園だより

第141号



年度末のお礼

日頃より十字園の事業運営にご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。

今年度は、フランスでのパリオリンピックやドジャースの大谷翔平と、日本人の活躍に一喜一憂するニュースも多い1年でした。半面、世界の一部では戦火がやまず、自然災害が度々起こり、当たり前の生活がいかに尊いか考えさせられる日々です。

さて、十字園は、直接支援する支援員や管理栄養士、看護師、理学療法士、事務を主にする職員など80名を超える大所帯で100名の入所者十地域の方の受入れをしています。

近年は、感染症クラスターや災害が珍しくありません。クラスターとは、同じ集団から同時期に10名以上罹患者が出たことを目安に対応します。2022年2月がコロナでの1回目のクラスターでした。当時100名中64名のご利用者が罹患し、その後支援に当たった27名の職員が次々と罹患しました。当時、新潟市内福祉施設の最大クラスターが発生したということで障害福祉課から支援物資を供給してもらい、法



感染症対策の実地訓練の様子

施設長 久根内 恵子

人内の応援職員も加わり終息に1ヶ月以上かかりました。家族を守るためにホテルから出勤した職員も多数いました。また、身内なのに何もできなくて...とお電話で励ましてくださる方、栄養ドリンクなどを届けてくださるご家族も多くいらっしゃいました。その後5類になり、私たちもこの感染症との向き合い方も学んできたところです。

十字園は50年間という歴史の中で何度もそういったものを乗り越えてきました。が、日頃からどんなに準備をしても、それらは想定外に突然起きるものです。これからも、備えを重ねて皆様の安心のために随時見直しを図っていきたいと思います。

年明けに長谷川理事長が谷川俊太郎氏の言葉を引用し「大きな視野で小さなことをする日々やっていく」と訓辞を行いました。今後当たり前前の日常を淡々と積み重ねて行ける十字園でありたいと思っています。そのためには職員一同研鑽し、努力してまいります。1年間ありがとうございました。一区切りの御礼を申し上げます。



夜間の避難訓練の様子

ボランティア通信

毎年、ボランティア活動で来園下さる『五十嵐民協』さん。今年度も5月と10月の2回、敷地内の除草をしてくださいました。

いつもキレイにして頂き、誠にありがとうございます。







✳️十字園50周年を記念した特製弁当✳️





かに、肉、うなぎ、のどぐろの4種類から好きなお弁当を選びました！
皆さん、いい笑顔で召し上がっていました！

